



# くすのき

2025年6月27日  
稲美町立母里小学校

## 【 靴をそろえる スリッパをそろえる そして、心を整える… 】

5年生の自然学校は、近畿地方が梅雨入りしたすぐ後で、天候が心配でした。雨が降ったり風が強かったりしましたが、すべてのプログラムが実施できて充実した体験活動ができました。そして、自然学校から帰ると夏の日差しへと変わっており、みんなで清掃したプールでの水泳学習が始まりました。水泳の様子を見に行くとき、西側昇降口の靴箱にいつもきれいに靴がそろえて入れられていることに感心します。5年生がリードして、4年生もきれいにそろえているようです。また、3階東トイレのスリッパは2年生がよくそろえています。ほんの数秒のことですが、靴をそろえる心の余裕が豊かな生活につながると思います。今月前半は、稲美町教育委員会や兵庫県教育委員会の訪問がありましたが、教室など校内環境、学級園などがきれいに整えられていて気持ちよく訪問できたとのことでした。これからも、心の余裕をもち、豊かな学校生活にしていきましょう。



## 【 学習評価の観点について 】

令和2年度から実施された学習指導要領（平成29年度改訂）では、全ての教科等の目標及び内容が「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す資質・能力の三つの柱で再整理されたことにより、観点別学習状況の評価は、各教科とも、次の3観点に整理されました。そのため、「学びのすがた」も様式を変更しています。すでに定着していることと思いますが、この機会にお知らせします。

### ○「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況の評価し、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

### ○「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

### ○「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

学力の3要素  
(学校教育法)  
(学習指導要領)

知識及び技能

思考力・判断力  
・表現力等

主体的に学習に  
取り組む態度

## 【 7月の主な行事予定 】

- 1日（火）1,2年 14：40 下校 3～6年 15：30 下校  
2日（水）図書ボランティア 児童委員懇談会  
1,3年 14：40 下校 2,4,5,6年 15：30 下校  
3日（木）月曜時間割  
1,2年 14：40 下校 3～6年 15：30 下校  
4日（金）町探検（2年） コミスク交流会（6年）  
図書返却締切（6/30～7/4 まで）  
1,2年 14：40 下校 3～6年 15：30 下校  
7日（月）全校集会 図書貸出（～11日）  
一斉下校 13：45 諸費  
8日（火）個別懇談 一斉下校 13：45  
9日（水）図書ボランティア  
個別懇談 一斉下校 13：45  
10日（木）母里っ子ルーム（6年なし） 校外児童会  
個別懇談 一斉下校 13：45  
11日（金）個別懇談 一斉下校 13：45  
14日（月）児童集会 一斉下校 14：40  
15日（火）スプーンおばさん（1,2年） 安全点検  
夏の交通事故防止運動（～24日）  
1,2年 14：40 下校 3～6年 15：30 下校  
16日（水）図書ボランティア 給食終了  
1,3年 14：40 下校 2,4,5,6年 15：30 下校  
17日（木）一斉下校 11：30  
18日（金）1学期終業式 一斉下校 11：30



### 個別懇談について

8日（火）から個別懇談を実施します。学習評価の観点を中心に、学級担任が学校生活の様子をお話します。今学期の学習の成果と学校生活や家庭生活の様子を振り返り、今後の成長に生かしていきたいと思えます。学習面、生活面それぞれのよかったところ、もう少し努力するところを明確にし、目標を持って夏休みを迎えましょう。

なお、1年生のご家庭には、個別懇談の前に、別途『学びのすがた』についてを配布しますので参考になさってください。

## 【 「自分も ひとも 大切に作る母里っ子」へ ～特別活動を通して～ 】

特別活動は、共生社会の担い手として欠かせない資質・能力である自治的能力や人間関係形成力などの育成と充実を目指してきました。特別活動を通じたよりよい生活や人間関係づくりは、学力とも相互に関連しており、特別活動に熱心に取り組む教師の学級や特別活動の取組に対して肯定的に回答した児童が多い学級ほど、多くの教科で平均正答率が高いという分析結果も報告されています（平成24年度「小学校学習指導要領実施状況調査」（国立教育政策研究所）による）。本校では、昨年度に引き続き「自分も ひとも 大切に作る母里っ子」を合言葉に、児童が「自分もやればできる」「がんばってよかった」といった自己効力感や自己肯定感をもてるように目標実現に取り組む姿を認め、励まし、成果を実感することができるように活動しています。また、グループ学習などの基盤となるよりよい人間関係など特別活動で身に付けた資質・能力を各教科等の学習で活用できるよう、実生活や実社会に生きて働く汎用的な力の基礎を充実させたいと考えています。

